

よしみ 議会だより

2013
第132号
吉見町議会
5月1日発行
編集
議会だより編集委員会
比企郡吉見町下細谷411
TEL 0493(54)1511

3月定例議会

6月定例議会

6月18日(火)から開催される予定です。

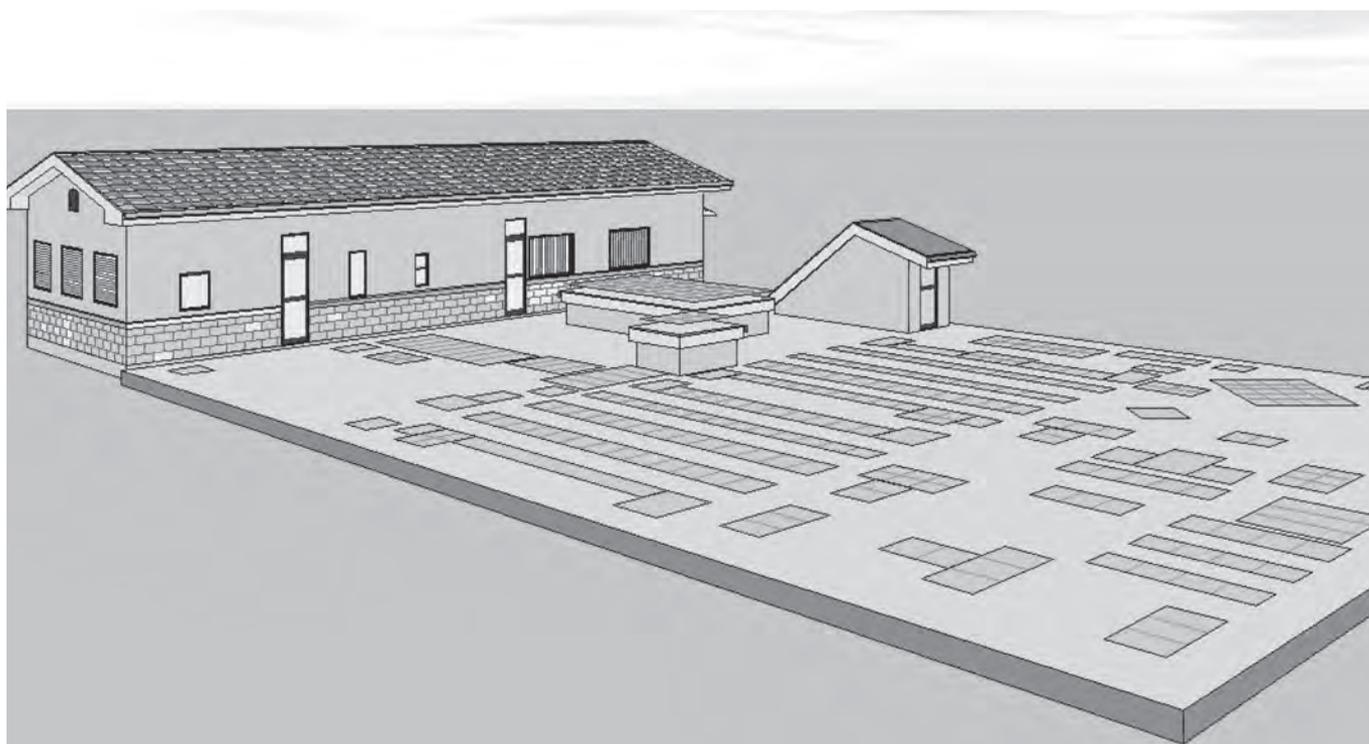
- 平成25年度の各予算決定 ……P 2 ~ 3
- 議案審議結果 ……P 4
- 条例改正等 ……P 5
- 常任委員長報告 ……P 6 ~ 7
- 一般質問に12名登壇 ……P 8 ~ 14
- 一部組合報告 ……P 14 ~ 15
- 議長日誌、編集後記 ……P 16

この議会だよりは再生紙を使用しています。

3月定例議会

「笑顔でつながる 元気なまち よしみ」の実現に向け

農業集落排水事業(東第二地区)の整備促進



※なお、この事業は国の補正予算に連動し、平成25年度から平成24年度へ予算の組み替えを行っています。

— 平成25年度の各予算決定 —

3月定例会は、2月28日から3月19日までの20日間の会期で行なわれました。

今定例会は、平成25年度の一般会計をはじめ各会計予算、平成24年度一般会計及び特別会計補正予算、条例の改正並びに国の大型補正による追加議案など42議案及び議員発議2議案の審議が行われ、すべて可決されました。

一般質問については、議員14名中12名の議員が登壇し、町政全般について活発な議論が展開されました。

予算の総額 119億6317万2千円

○一般会計予算	59億円
○特別会計予算(6会計)	50億4870万8千円
・国民健康保険特別会計	23億6000万円
・後期高齢者医療特別会計	1億4056万6千円
・介護保険特別会計	11億8822万2千円
・百穴管理特別会計	1592万円
・下水道事業特別会計	6億60万円
・農業集落排水事業特別会計	7億4340万円
○企業会計予算(水道事業会計予算)	10億1446万4千円

■平成25年度予算の主な内容

平成25年度予算は、吉見町の将来像である「笑顔でつながる 元気なまち よしみ」の実現に向け、4つの基本目標に基づき各種施策を効率的、計画的に進めてまいります。

●主な事業

◎は新規事業

<p>魅力と活力に満ちた産業のあるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎人・農地プラン策定事業(人・農地問題の未来の設計図) ○西吉見南部地区の工業用地整備の推進(町道109号線の整備) ○お土産品(スイーツ)PR事業 ○県営湛水防除事業(台山排水路等の整備) ○県営農道整備事業(広域農道)舗装の打ち替え工事 ○県営ほ場整備事業(東第二)ほ場整備の基本設計
<p>緑と調和した安全・安心な生活空間のあるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎準用河川横見川の整備 ◎B&G体育館改修工事設計業務委託料 ◎定住化促進事業の検討 ◎水道料金のコンビニ収納 ◎携帯用ホームページの開設 ○石綿管布設替事業 ○八反田配水場建設事業 ○太陽光発電システム設置推進事業 ○幹線道路・生活道路の整備
<p>健やかで笑顔あふれるぬくもりのあるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費用の助成 ◎未受診者対策事業(特定健康診査等) ◎ファミリーサポートセンター事業 ○脳ドック補助の追加(国保・後期) ○こども医療費助成事業 ○未熟児療養医療の給付事務 ○第三次男女共同参画プランの策定
<p>豊かな心を持ち一人ひとりに輝きのあるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎小学校図書室エアコン設置事業 ○いちご学習ノート ○外国語指導助手の導入 ○公民館トイレ洋式化(西公民館・北公民館) ○西吉見南部地区の土地区画整理事業に係る発掘調査

議 案 審 議 結 果

町長提出議案

議案番号	件 名	審議結果
議案第 1号	吉見町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 2号	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決
議案第 3号	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について	原案可決
議案第 4号	比企広域市町村圏組合の規約変更について	原案可決
議案第 5号	吉見町新型インフルエンザ等対策本部条例	原案可決
議案第 6号	吉見町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決
議案第 7号	吉見町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	原案可決
議案第 8号	吉見町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例	原案可決
議案第 9号	吉見町都市公園条例	原案可決
議案第10号	吉見町が管理する町道の構造の技術的基準等を定める条例	原案可決
議案第11号	吉見町準用河川における河川管理施設等の構造的基準を定める条例	原案可決
議案第12号	吉見町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例	原案可決
議案第13号	吉見町水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例	原案可決
議案第14号	災害対策基本法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
議案第15号	障害者自立支援法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
議案第16号	吉見町一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第17号	吉見町事務手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第18号	吉見町社会福祉法人に対する助成の手続を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第19号	吉見町企業等誘致に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第20号	吉見町下水道事業審議会条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第21号	吉見町下水道条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第22号	町道路線の廃止について	原案可決
議案第23号	町道路線の認定について	原案可決
議案第24号	平成24年度吉見町一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第25号	平成24年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第26号	平成24年度吉見町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第27号	平成24年度吉見町介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第28号	平成24年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第29号	平成24年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第30号	平成24年度吉見町水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第31号	平成25年度吉見町一般会計予算	原案可決
議案第32号	平成25年度吉見町国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第33号	平成25年度吉見町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第34号	平成25年度吉見町介護保険特別会計予算	原案可決
議案第35号	平成25年度吉見町百穴管理特別会計予算	原案可決
議案第36号	平成25年度吉見町下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第37号	平成25年度吉見町農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第38号	平成25年度吉見町水道事業会計予算	原案可決

追加議案

議案番号	件名	審議結果
議案第39号	平成24年度吉見町一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第40号	平成24年度吉見町介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第41号	平成24年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第42号	平成25年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決

議員提出議案

発議番号	件名	審議結果
発議第1号	吉見町議会委員会条例の一部を改正する条例の提出について	原案可決
発議第2号	吉見町議会会議規則の一部を改正する規則の提出について	原案可決

| 主 | な | 議 | 案 | の | 内 | 容 |

■議案第24号

平成24年度 一般会計補正予算(第5号)
既定の予算額にそれぞれ4451万8千円を追加し、予算の総額を62億9529万円とするものです。

—主な歳入として—

○分担金及び交付金	574万9千円
○国庫支出金	728万円
○県支出金	△604万3千円
○諸収入	2251万円
○町債	1520万円

などであります。

—主な歳出として—

○国民健康保険特別会計操出金	3115万6千円
○農業体質強化基盤整備促進事業	3400万円
○下水道事業特別会計操出金	△2000万円

などであります。

■議案第5号

吉見町新型インフルエンザ等対策本部条例

—主な内容—

- 情報交換及び連絡調整を円滑に行うため、新型インフルエンザ対策本部の会議を招集する。

■議案第9号

吉見町都市公園条例

—主な内容—

- ・都市公園の配置及び規模の基準
- ・公園施設の設置基準
- ・行為の制限及び禁止、使用料の設定等

■議案第10号

吉見町が管理する町道の構造の技術的基準等を定める条例

—主な内容—

- ・道路の区分及び車線その他付帯設備についての規定

■議案第11号

吉見町準用河川における河川管理施設等の構造的基準を定める条例

—主な内容—

- 堤防・床止め・堰・水門及び樋門・排水機場・橋・伏せ越しに関する基準の設定

■議案第12号

吉見町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例

—主な内容—

- 園路及び広場・休憩所及び管理事務所・駐車場・便所・水飲み場及び手洗い等に関する基準の設定

■議案第13号

吉見町水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例

—主な内容—

- 布設工事監督者の資格基準及び水道技術管理者の資格基準の明確化

■議案第19号

吉見町企業等誘致に関する条例の一部を改正する条例

—主な改正内容—

- 「平成25年3月31日」で期限が切れるため、「平成30年3月31日」に延長するもの

定住化の促進に向けた 「住みたいまち創造委員会」を設置

総務建設常任委員会 | 小林 周三 委員長

平成25年度吉見町一般会計予算のうち、関連する歳入及び歳出の議会費、総務費（福祉町民課所管分を除く）、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、災害復旧費、公債費、諸支出金及び予備費の関連科目、平成25年度吉見町百穴管理特別会計予算、平成25年度吉見町下水道事業特別会計予算、平成25年度吉見町農業集落排水事業特別会計予算、平成25年度吉見町水道事業会計予算について審議いたしました。

新設される住みたいまち創造委員会について

人口減少傾向にあることは町として大きな問題であるので、定住化促進のための先進事例を調査研究し、よりよい施策を検討します。委員会と併せて職員のプロジェクトチームも設置します。

町内の空き家の状況について

昨年末に、各区長さんへ行政区内にある空き家の調査を依頼して、町全体の空き家状況の把握に努めています。現在集計中ですが、成果品については防犯上や定住化促進並びに地域活性化の観点から、今後の空き家対策の資料として活用します。

コンビニエンスストア収納について

平成25年1月末現在、町税で約8200万円、国民健康保険税で約3800万円の納付済。平成25年度から水道料金についてもコンビニエンスストアで納付ができるようになります。

使用済小型家電機器の回収について

平成25年5月1日から役場庁舎において拠点回収を実施します。

太陽光発電設備設置費補助金について

平成25年度も地球温暖化対策として再生可能エネルギー利用を推進するために、太陽光発電設備を設置する方に引き続き補助金を交付します。

交通事故対策について

死亡事故現場においては、速やかに警察等の関係機関と道路診断を行ない、必要とされる交通安全施設を設置します。町全体の交通環境の向上を図るために、反射電柱幕など効果的な交通安全看板を設置するよう要望する。

消費生活相談について

これまで町では月2回の相談窓口が、平成25年度からは、東松山市で平日10時から16時まで相談を受けられるようになり利便性が向上します。

耕作放棄地について

耕作放棄地の現状は123.4ヘクタールで、ほぼ毎年横ばい状態であります。耕作放棄地は今後課題となるであろうことから、将来を見据え解消に努力するよう要望する。

横見川改修について

横見川改修は下流で改修した多自然型ではなく、農業用水としての機能を満たす工法で詳細設計を委託します。

百穴入場者数の減少について

減少傾向が続いているので、県のクールスポット100選の活用を検討し、引き続き広くPRを行い、集客増に努めていきます。このことについて集客数を増やすため広くアイデアを公募するよう要望する。

以上、本委員会において慎重審議の結果、原案のとおり認定すべきものと決した次第であります。

安心の地域づくり、少子高齢化対策、 教育施設の環境整備に取り組む予算

教育福祉常任委員会 | 安孫子 和子 委員長

本委員会が所管する一般会計歳入歳出予算は、総務費（福祉町民課所管分）、民生費、衛生費（健康推進課所管分）及び教育費であり、それらに係る歳入歳出予算総額は、29億1291万1千円、一般会計歳入歳出予算総額59億円に対する割合は、49.37%であります。歳入のうち、国等からの特定財源総額は、10億304万1千円、一般会計歳入総額59億円に対する割合は、17%、前年度対比5016万3千円、4.76%の減であります。

住み慣れた地域で安心の生活目指して

今年度は、「地域福祉計画」を策定し、住民参加型の地域支え合いの仕組みづくりを進めます。また、救急医療情報キットの配布や後期高齢者医療事業でも、人間ドックに加え、脳ドックの公費補助も始めます。また、65歳以上の方を対象に成人用肺炎球菌ワクチンの公費助成も始めます。母子保健事業では引き続き各種健診、予防接種を実施するとともに、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンの接種を行います。女性が安心して出産期を迎えられるよう、現行14回の妊婦健診助成と付随する検査項目を中心に体制を整えます。

また、胃がん検診は、胃カメラも選択できるようになります。更に、保健センターの改修に向けた取り組みを始めます。

安心の子育て支援

新たに「ファミリーサポートセンター事業」を始めます。緊急時や病児・病後児の子どもの援助など新しい支え合いの仕組みの構築と地域で安心して子育てができる環境を整備します。

教育・生涯学習環境の整備・充実

小学校の修繕関係では、東第一小及び南小のトイレ洋式化、南小保健室床修繕、西小のトイレ前室の床張り替えのほか、東第一小、南小、西小の受水槽の外装修繕。工事関係では、未設置の小学校の図書室にエアコン設置工事、南小のプールサイド改修工事を予定。中学校費では、校舎の改修計画に関する設計監理委託料150万円が計上されており、教室棟及び特別教室棟の外壁や屋上の状況を調査し、改修計画を作成します。生涯学習関係では、西と北

の公民館に洋式トイレを、図書館の屋外にはベンチを、図書館と生涯学習センター2施設には、AEDをそれぞれ設置します。また、B&G体育館改修工事設計委託料420万円やふれあい広場建物屋根塗装工事285万6千円などが計上されており、スポーツ施設等の環境を整えていきます。

厳しい財政運営の国民健康保険

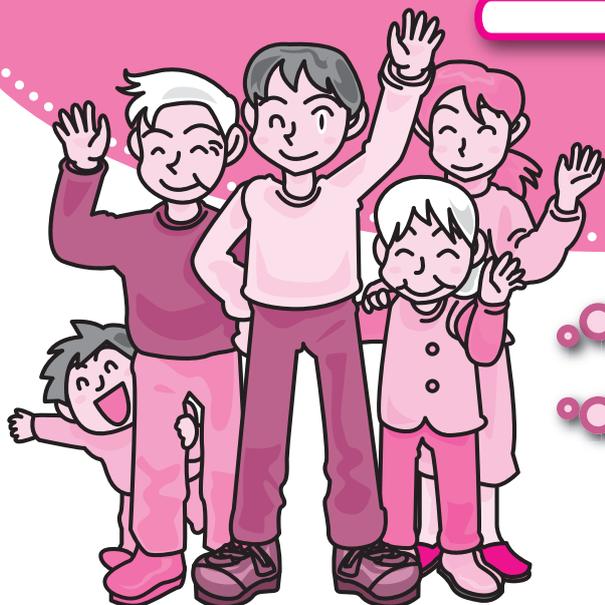
歳入歳出予算の総額は23億6千万円、前年度対比3650万円、1.57%の増です。一般会計からの法定外繰入金は、1億5千万円で、一人当たり2万4千円になります。安定した運営を図るため、適正な保険税の賦課に向けた検討を進めるとともに税の公平性の観点から収納率向上に努めます。特定検診の受診率向上に取り組むとともに、新たに脳ドックの受診者補助事業を加え、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額通知を送付するなど、医療費の抑制につなげていきます。

介護予防事業に取り組む介護保険特別会計

被保険者を4923人、要介護認定者数603人、要支援者数122人と見込み、歳入歳出予算11億8822万2千円で、前年度対比234万9千円、0.2%の減です。運動機能と口腔機能向上と栄養改善を組み合わせた二次予防事業など特色ある介護予防に取り組みます。新たに、「かろやかくらぶ」と同レベルの教室「しゃっきりくらぶ」を増設し、継続通所者の拡大を図ります。また、住宅改修費の受領委任払いを始めます。

以上、本委員会において慎重審議の結果、原案のとおり認定すべきものと決した次第であります。

町政に対する 一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

生活保護者の実態について

伊与田 隆 議員

問 生活保護受給者の中には、働ける世代の受給者や不正受給者が増加しているが、吉見町の実態は。

答 吉見町でも生活保護世帯が増加しており、平成24年12月現在では75世帯、110名であります。町では制度の説明や相談の受付を行っており適正な事務処理を実施しております。給付等の決定や必要な調査は埼玉県が行っており、吉見町は西部福祉事務所が所管しております。不正受給事案として管内では県が告訴に至った事案はないそうです。

問 生活保護費の給付額は。

答 町全体で約一ヵ月480万円程度であります。個人の給付額は、60歳の一人暮らしで一ヵ月61,640円が基準額です。

問 受給者への就労支援は。

答 西部福祉事務所のケースワーカーが、生活、就労全般の支援を行っております。

問 民生委員は高齢者の見守りをどのように行っているのか。

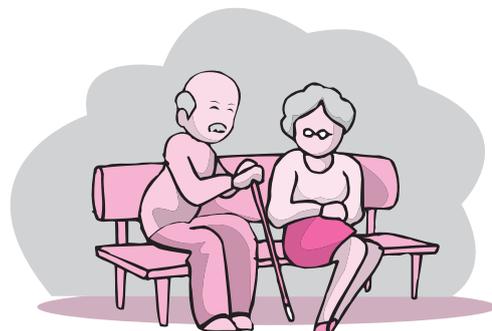
答 適当と思われる頻度で、訪問や家の外から見守りをさせていただき、一年に一度65歳以上の方全員を訪問していただいております。

問 駆け込み退職問題について吉見町の現状は。

答 町では6名の教員が定年退職を迎えますが、全員が年度末まで勤務を選択いただき感謝したいと考えております。

問 吉見町には部活動において体罰はあったのか。

答 吉見中学校では、体罰は暴力であり、技術の向上に体罰は必要ない、との共通認識の下で、指導にあたっており体罰はありません。



安心・安全・平等

» 小宮 榮 議員

問 フレンドシップハイツよしみの今後の契約について、平成25年で10年間の契約期間満了に伴い、借り手がいるが、入札制度をとらないのか。

答 借受人株式会社カナイとの協議をしております。

問 フレンドの土地19,951.24㎡(6,035坪)、建物4,503.85㎡(1,362坪)で一般的な固定資産税相当額はどのくらいになるのか。

答 試算しますと約480万円になります。

問 総売り上げの3%で300万円が最低保証額と比較して安いのではないかと。

答 契約の時に見直します。

問 雪対策について、竹等が道路に覆いかぶさって通行を妨げている。前もってシルバー人材センター等に頼んで伐採してもらいたい。

答 民地に生えている竹等の管理は、所有者が行うことが基本であり、所有者の確認をし、適正に管理を

して頂けるようお願いしてまいります。

問 凍結の恐れがある個所に塩カルを置いたらどうか。

答 塩カルの前配置については、検討してまいります。

問 既存住宅団地内の急な坂道で危険な場所があるが、住民も高齢の人が多くなり、安全な道にしてもらいたい。

答 コンクリート舗装でホウキ目仕上げなどによるすべり止め加工を実施している場所もあります。今後の修繕等は地形の状況を考慮し、施工してまいります。



すべり止め加工をほどこした坂

町の活性化への取り組みは

» 尾崎 豊 議員

問 活性化の方策として、遊休施設の活用を。

答 旧山ノ下保育園は、平成25年度から地域振興のための施設として活用することを方向づけました。その他の旧保育園を始めとする未利用財産につきましても、引き続き有効な活用方法を検討していきます。

問 国際交流事業の推進について。

答 異文化に接する機会を設けることは、町民の方が国際的な視野を持ちながら、幅広く活躍できるきっかけになり、ひいては地域間の国際交流などにつながることも期待できますので、引き続き取り組んでいきます。

問 吉見町の水道事業について。

答 町内の総使用水量は、昨年7月の料金改定と大口利用者である町内企業の生産ライン増設に伴い、前年度と比較し増加しています。

問 吉見町の特定健康診査について。

答 平成23年度が29.4%の受診率となり着実に向

上しています。

問 胃がん検診の状況とABC検診の導入検討を。

答 胃がんのリスク度を判定するABC検診につきましては、国における取り扱いを注視していきたいと考えています。当面は、現在実施している胃のX線検査としたいと考えています。

問 健康づくり推進のため、貯筋運動について。

答 筋肉を貯金のように増やしていく貯筋運動も、効果的な取り組みであると思われませんが、町で取り組む悠友館の介護予防も高い評価であり、全国各地の取り組みを参考に効果的的事业に取り組めます。



旧 和名保育園

人にやさしいまちづくり

» 神田 隆 議員

問 庁舎利用の高齢者、障がい者の移動の円滑化について。

答 庁舎にお越し頂く際に、不便をおかけしないよう、常日頃から設備の点検を行っております。高齢者、障がい者の方々が庁舎内を移動するのに支障がないよう、段差解消や多目的トイレへのオストメイト対応などの整備を行っております。



庁舎玄関スロープ

土曜日授業復活について

» 小林 周三 議員

問 平日の授業時間数が多くなり、子供たちの学習負担は増加していないか。

答 新学習要領の完全実施により、小中学校での授業時間数が見直され学習負担は増えています。しかしながら現状では授業時間が確保でき確実に学力が向上してきていること、校長会からの意見聴取でも特に要望が出ていません。

問 取り組んでいる市町村が増えてきている。保護者や教員にもアンケートを取って、吉見町の子供たちが後れを取らないような対応ができないか。

答 今後必要性が認められるような状況になれば検討しなければなりません。

問 社会資本の長寿命化への取り組みについて。公的施設の持続可能な管理運営方針及び計画的な建て替え、改修による維持管理コストの最適化をどのように考えているか。

問 庁舎内の高齢者、障がい者への窓口対応とプライバシー保護に対する対応について。

答 窓口対応につきましては、すべての来庁された方に親切丁寧に迅速かつ適切な事務手続きを進め、より良い対応に努めており、プライバシーに係わる相談につきましては、相談室等を活用しプライバシーが守られるよう配慮しております。

問 高齢者、障がい者の方々への選挙投票所の安全対策の状況また、点字及び音声などによる選挙情報の提供について。

答 高齢者、障がい者への選挙対応につきましては、投票所のバリアフリー対策をはじめ高齢者や障がい者の方が安心して投票が行える環境づくりに努め、点字及び音声などによる選挙情報の啓発も合わせて行っております。

問 高齢者の安心と生きがいについて。

答 高齢の方が、生きがいを持って元気で暮らしていることは、いつの時代でも大切なことでもあります。町では、健康、福祉、社会参加、就労支援など多方面から高齢者の方が安心して生活を送ることができる、町づくりを進めております。

答 道路や上水道は安全安心を欠くことなく使用できるよう、公の施設は人口の推移やニーズの変化を考えて限られた予算の中で管理運営していきます。また耐用年数や老朽化が進んだ施設については統廃合や廃止なども視野に、効率的に対応していきます。

問 町民が安心して自治会活動に参加し、地域の活性化につながるような支援について。

答 現在75行政区中、70の行政区で自治会保険に加入しています。補償内容は行政区の考えで掛け金を決めている状況です。

問 補償の内容は行政区で差があるのか。

答 最低一日千円から4千円と行政区の掛け金で差があるのが現状です。



吉見町内の埋め立てについて

» 日本共産党 奥村 栄昭 議員

問 今までに担当課で確認されている不法な埋め立ての事実があれば何件くらいだったのか。

答 今までに確認されている不法な埋め立ては平成6年3月以降で3件でありました。

問 以前、六の谷において行われた埋め立ては、合法であったのか違法であったのか。

答 以前、六の谷地内で行われた埋め立ては農地改良の届け出がなされましたが、受理書が交付される前に工事が進みました。

また、施工方法や施工面積など届出内容と大きくかけ離れていたため、農業委員会から是正をするよう勧告書が3回出されていました。農地法に違反し、町の埋め立て条例にも違反している違法な埋め立てでした。

問 現在、長谷において鉄柱を立て、道路を施錠、封鎖して立ち入り禁止の看板が立てられている箇所がある。封鎖を見た人々から以前の様な大規模な埋め

立てが起こるのでは、との声が数多く届いているが町はどのように考えているのか。

答 指摘されている箇所の施錠、封鎖状況及び看板等、また重機がある事も確認しています。今後、土砂などの搬入がされた場合には吉見町土砂等による土地の埋め立て等の規制に関する条例により対処してまいります。また、庁内関係課一体となり取り組むとともに、埼玉県東松山環境管理事務所、東松山農林振興センター並びに東松山警察署と連携を図り対応してまいります。



六ノ谷地内

通学路点検と対応の公表

» 公明党 秋山 真美 議員

問 通学路の緊急合同点検と対応の公表について。

答 危険カ所は、18カ所がリストアップされ、15カ所は、対応し改善された。残り3カ所も、関係機関に要請している。対応結果は、各学校へ通知し、調査を行ったPTA役員会で報告いただいている。

問 対応の公表にホームページを利用して頂きたい。

答 今後、検討する。



問 地域防災計画改正について。

答 3回の町防災会議を経て改正内容が確定し、新たな指針が定まった。今後は、これに沿って種々知恵を絞り推進していく。

問 吉見町公式ツイッターとフェイスブックの情報発信の現状と課題について。

答 昨年11月より開始、情報発信の数はまだ少なくそれぞれ同じ内容を7件掲載。災害時にも有効な手段として日頃より広く行政情報を発信したい。

問 学校評価の実施状況と評価の公表について。

答 町内全小中学校で実施しており、公表は概要を年度末を目途に学校便りで行っている。

問 平成19年の法改正で、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価し、議会への報告と公表が定められている。今後、実施する事への考えについて。

答 これまで、定例議会の都度「教育長報告」として教育行政の状況について報告していた。今後は法の規定に照応させて報告する考え。なお、点検評価には学識経験を有する者の知見の活用も定められておるので今後は人選を進めていく。

急激な高齢化に対する町の取り組みについて

» 岩崎 勤 議員

問 介護予防事業の現在の状況と地域福祉サロンの考えや去年スタートした地域支えあい事業の推移と今後の高齢化に対する町の考えは。

答 介護保険などの制度だけでなく地域全体で世代を超えた助け合い、支えあいの取り組みを進めることが高齢者の方々が安心して生活していくことにつなが



地域福祉サロンの様子

うつ・自殺者対策 心の体温計

» 公明党 安孫子和子 議員

問 町のうつ・自殺者対策の取り組みについて。

答 保健センターで相談を担当する保健師を中心に精神疾患に関する知識の習得と相談技術向上、自殺対策に関する情報の収集等に取り組んでおります。

問 町ホームページには、保健センターで相談できる内容の記述がない。また、県のホームページへリンクできるような改善の必要性についての見解は。

答 現在の町のホームページの状況、様々な効果的情報の伝え方を研究し、早急に対応いたします。

問 心の体温計の導入について。心の体温計は、パソコンや携帯電話でゲーム感覚で、心のストレスチェックができ、相談先一覧が手軽に見ることができます。また、そのデータで町民の心の状態が統計学的に把握できます。データを基に町の対策、政策につなげていけると思いますが、導入の見解は。

答 うつ状態の早期発見に効果的と思われるが、

ると考えます。高齢化、核家族化が進行する中、地域福祉計画の策定が急務と考えております。

問 道の駅の拡充について検討事項となっていたが。

答 道の駅につきましては、今後検討委員会を立ち上げて拡充を図ってまいりたいと考えております。

問 東第二地区に計画されている農産物直売所の地元要望について。

答 埼玉型ほ場整備事業の調査の成果として作成した、地域営農ビジョンの中に直売所の構想がなされておりますので前向きに検討してまいります。

問 町の救急医療体制と今後の取り組みについて。

答 「初期救急」は比企地区こども夜間救急センター、比企医師会の在宅当番医制で対応しております。

「第二次救急」は病院群輪番制に参加する4病院にて対応しております。

「第三次救急」は、埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センターを中心に対応しております。

埼玉県で取り組む地域医療再生計画の中でも救急周産期医療の機能強化が進められており、比企郡市の各市町村と協力して救急医療の充実に取り組んでまいります。

専門的な相談先の確保や支援体制の整備などにも必要になるので、引き続き調査、研究してまいります。



問 期日前投票、不在者投票の宣誓書(兼請求書)は、パソコンでダウンロードできたり、投票所入場券の裏面に記載している自治体もあります。受付や立会人の注目を浴びながら、宣誓書を書くのは、落ち着かないという方もいる。自宅で書いて投票できるよう、宣誓書のダウンロード等の導入の見解は。

答 利便性の向上は、投票率アップにつながりますので、導入に向け検討してまいります。

問 庁舎の自家発電装置の設置について

答 防災計画の見直しにおいて、庁舎電力の確保を掲げました。導入に向けて引き続き検討します。

高齢化社会への対応について

» 荻野 勇 議員

問 要介護認定者の現状と今後の課題は。

答 本年1月の介護保険事業報告では要支援、要介護認定者は合計で721人です。平成26年度は899人と推計しています。課題は健康長寿の期間を延ばし、認定者数を抑えることと考えます。

問 介護予防のための健康づくりへの取り組みは。

答 一般の高齢者を対象とする一次予防事業では、8



介護予防教室

種類の教室を開催し、介護が必要となるリスクの高い方を二次予防対象者と位置づけ、運動機能・口腔機能向上、栄養改善を組み合わせ、複合型の介護予防を中心にした、3種類の教室への参加を呼びかけ、少しでも要介護となる時期を遅らせることを目指しています。

問 特定検診や各種検診のさらなる受診率の向上を図っていくためにどのような対策を考えているか。

答 新年度については検討中であるが、受診の申し込み方法について見直しを図ります。今までは希望する方に申し込んでもらいました。新年度は各世帯の40歳以上の方全員を対象に、受診を申し込みますか、申し込まない理由はなぜですか。他で受ける場合はどこで等、設問方式で申し込み書を記入してもらい、状況を把握できるようにしていきます。

問 胃がん検診に内視鏡検査も導入し、バリウムを飲んだ検査と選択性にしていきたいとのことだが、費用や受診できる医療機関等の課題はないか。

答 調査したところ同じ位の費用でできそうなので予算を大幅に増やすことなく、取り組めるので選択性にしていきます。医療機関については町内にも胃カメラを導入した病院もあり検討中であります。

原発ゼロの社会を目指して

» 日本共産党 杉田しのぶ 議員

問 2012年4月28日に「脱原発首長会議」が発足している。この会の設立の趣旨は「自治体首長の第一の責任は『住民の生命・財産を守る』ことであり、自治体の首長も自らの責任として、福島事態に黙することなく、原発に依存しない社会「脱原発社会」を目指し、すみやかに再生可能なエネルギーを地域政策として実現することを積極的に進めていかなければならない」とし首長がゆるやかなネットワークを組み、力を合わせて自立した地域づくりを進めていくというものであり、吉見町長として「脱原発首長会議」への参加を求めたいと思うが、町長の見解は。

答 脱原発首長会議設立の趣旨は理解できる部分もあるが、全ての原子力を代替エネルギーに切り替えることが可能かどうか、国民生活や社会経済等を考える上で、今すぐ原発の廃止に結びつけることはできない状況であるし、首長会議に参加をすれば解決するとい

う問題ではない。地方自治体として引き続き節電や省エネ対策の推進に取り組むことが、今やるべき自治体の役目ではないかと考える。

問 原発に頼らない社会を構築するために、省エネ・省電力化・再生可能エネルギーへの取組みが急速に広がっている。特に再生可能エネルギーについては、公共施設への太陽光発電の設置や農業用水や上下水道施設を活用した小水力発電等、地域の利点を活かした沢山の可能性を秘めている。町として先進事例を調査して導入できるものは積極的に取り入れて頂きたいと思うが町の見解を。

答 今後調査・研究してまいりたい。



脱原発 NO NUKES

(仮称)一般廃棄物処理熱回収施設の推進状況は

» 内野 正美 議員

問 現在、吉見町が中心となって進めている新たな処理施設の枠組みは。

答 2月13日に、北本市が9市町村の枠組みに加わらない事を正式に表明された以降、2月26日に8市町村(桶川市・東松山市・滑川町・嵐山町・小川町・吉見町・ときがわ町・東秩父村)による関係市町村長連絡会議を開催し、新たな枠組みとして取り組むことを確認しています。

問 協議会を立ち上げるようだがどこに置くのか。

答 3月末に協議会を設立し、4月1日から協議会事務局を吉見町役場内に設置し、一部事務組合の設立及び一般廃棄物処理熱回収施設等の整備に向け、推進してまいります。

問 埼玉中部環境保全組合とどのようなかわりをもっていくのか。

答 これまでの埼玉中部環境保全組合新施設建設検討委員会の検討結果を継承するとともに、今後においても、埼玉中部環境保全組合と連携し、一般廃棄物処理熱回収施設等の整備を推進いたします。

問 御用納め及び仕事始めに、職員は全員参加しているのか。

答 一年の仕事を締めくくる御用納め、また、新年を迎える仕事始めの式は、いずれも節目の日であり、原則職員の全員参加を基本に開催しています。



一 部 事 務 組 合 報 告

埼玉中部環境保全組合議会定例会

» 荻野 勇 議員

期日 平成25年2月19日 午前9時から

場所 埼玉中部環境センター会議室

吉見町議会から神田隆議員、杉田しのぶ議員、内野正美議員、荻野勇の4名が出席いたしました。

上程されました議案は管理者提出9議案、議員提出2議案であります。

- 議案第1号 専決処分の承認を求めることについて
- 議案第2号 埼玉縣市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について
- 議案第3号 埼玉縣市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について
- 議案第4号 埼玉中部環境保全組合一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格を定める条例

- 議案第5号 埼玉中部環境保全組合新施設建設検討委員会設置条例を廃止する条例
- 議案第6号 埼玉中部環境保全組合特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第7号 埼玉中部環境保全組合証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第8号 平成24年度埼玉中部環境保全組合一般会計補正予算(第2号)
- 議案第9号 平成25年度埼玉中部環境保全組合一般会計予算
- 発議第1号 埼玉中部環境保全組合議会運営委員会条例の一部を改正する条例について
- 発議第2号 埼玉中部環境保全組合議会会議規則の一部を改正する規則について

以上、上程されました議案につきましては、慎重審議の結果、原案のとおり可決されました。

北本地区衛生組合議会定例会

» 岩崎 勤 議員

期日 平成25年2月20日 午前9時から

場所 北本衛生組合議場

吉見町議会から小林周三議員、岩崎勤の2名が出席いたしました。

- 議案第1号 北本地区衛生組合職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について
- 議案第2号 証人等の実費弁償に関する条例の一部改正について
- 議案第3号 北本地区衛生組合一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格を定める条例の制定について
- 議案第4号 埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について
- 議案第5号 埼玉県市町村総合事務組合を組織する

地方自治体の数の増加及び同組合の規約変更について

- 議案第6号 平成25年度北本地区衛生組合歳入歳出予算について
歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億1111万円4千円と定め平成24年度と比較して6900万2千円、18.15%の減としたものです。
し尿の処理状況は2万7375.47キロリットルで前年比2.31%の減となっています。

議員提出議案2議案が追加されました。

- 議提第1号 北本地区衛生組合議会運営委員会条例の一部改正について
- 議提第2号 北本地区衛生組合議会会議規則の一部改正について

以上、上程されました議案につきましては、慎重審議の結果、原案のとおり可決されました。

比企広域市町村圏組合議会定例会

» 尾崎 豊 議員

期日 平成25年2月20日 午前10時から

場所 東松山議会議場

吉見町議会から宮崎善雄議長と尾崎豊の2名が出席いたしました。上程されました議案は17議案であります。

- 議案第1号 専決処分について
- 議案第2号 監査委員の選任について
- 議案第3号 公平委員会の選任について
- 議案第4号 障害程度区分審査会経費の一部改正
- 議案第5号 障害程度区分審査会の一部条例制定
- 議案第6号 職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例制定
- 議案第7号 証人等の実費弁償に関する条例制定
- 議案第8号 消防本部及び消防署の設置等に関する条例制定

- 議案第9号 埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少
- 議案第10号 埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の規約変更
- 議案第11号 平成24年度一般会計補正予算
- 議案第12号 平成24年度消防特別会計補正予算
- 議案第13号 介護認定及び障害程度区分審査会特別会計補正予算
- 議案第14号 平成25年度一般会計予算
- 議案第15号 平成25年度消防特別会計予算
- 議案第16号 斎場及び霊きゅう自動車特別会計予算
- 議案第17号 平成25年度介護認定及び障害程度区分審査会特別会計予算

以上、上程されました議案につきましては、慎重審議の結果、原案のとおり可決されました。

議 会 日 誌

月 日	件 名
2012.12.5	第21回老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会
11	平成24年度東松山鴻巣線整備促進協議会視察研修
12	平成24年度吉見町安全・安心まちづくり大会
18	比企郡町村議会議長会正副議長合同研修会及び意見交換会
19	特定非営利活動法人 大地の郷 開所式
2013.1.4	吉見町役場「仕事始めの式」
5	平成25年比企支部消防出初め式及び新年顔合わせ会
7	議会だより編集委員会
11	平成24年度吉見中学校PTA・後援会合同意見交換会(杉田副議長代理出席)
13	平成25年吉見町成人式
13	建設埼玉吉見支部意見交換会
15	平成25年県と市議会議長会・町村議会議長会との新年意見交換会
15	比企郡町村議会議長会及び意見交換会

月 日	件 名
1.16	議会だより編集委員会
18	吉見商工会「新春講演会・賀詞交歓会」
19	平成25年吉見消防団OB会総会及び意見交換会
22	比企青年会議所新年賀詞交歓会
25	教育委員会・学校管理職合同意見交換会
30	平成24年度比企郡町村議会議員研修会【演題:「地域再生～行政に頼らない感動の地域づくり～」講師:豊重哲郎氏(鹿児島県鹿屋市串良町柳谷自治公民館館長)】
2.1	吉見町老人クラブ連合会意見交換会
3	第19回久保田賀美文化祭
8	吉見町PTA連絡協議会意見交換会
10	人権・同和問題研修会
14	お土産品(スイーツ)開発製作発表会
15	正副議長及び事務局長合同研修会
17	総合型地域スポーツクラブ設立総会
21	議会運営委員会

町議会を傍聴してみませんか

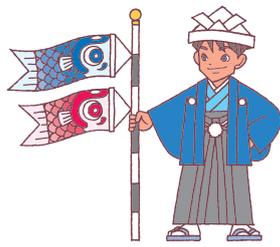
次の議会は **6月定例議会** 6月18日(火)から開催される予定です。

詳しいことは町議会事務局までお問い合わせください。TEL 0493-63-5024

編 集 後 記

今年の桜の開花は昨年より10日ぐらい早まり、各地の桜祭りは開催日を繰り上げての開催となったようです。入学式も散りゆく桜を見上げながらの中での式典でありました。

4月は、大きな夢と希望を胸に抱き、進み行く新たな旅立ちの月です。それぞれの夢と希望が叶うよう見守り、願うばかりです。草木も芽吹き、日ごとにその緑の深みを増し、めぐりくる大自然の営みを感じる季節でもあります。今年度も編集委員一同、新たな気持ちで親しみやすい紙面作りに努めてまいります。



- 議会だより編集委員会
- 委員長 内野 正 美
 - 副委員長 伊与田 隆
 - 委員 宮崎 善 雄
 - 委員 杉田 しのぶ
 - 委員 宮崎 雄 一
 - 委員 荻野 勇